

支 部 信 通

**同 舟**

No. 28  
4 月 号  
4月14日編集発行

東京都宅地建物取引業協会  
府中支会  
編集兼発行人  
高野豊次

第一回府中支部総会開催

- と き 四月十一日午後四時より
- と ころ 山梨県石和温泉 ホテル石和
- 参加者 別記旅行記に記載の通り
- A 総会次第と、その要領
- 一 開会の辞 加藤 武 君
  - 二 支部長挨拶 山村馬太郎君
  - 三 四〇年度事業経過報告 高野豊次郎君
  - 四 各部長挨拶
  - 五 議長及び書記選出 議長 山村馬太郎君
  - 六 四〇年度決算報告 横峠 優 君 説明 書記 吉野文之太郎 山岸正治両君
  - 七 原案通り可決、但し決算内容につき 吉野文之太郎君より質問あり
  - 八 四十一年度予算案並びに事業計画案 横峠優君説明
  - 九 審議の結果原案通り可決
  - 十 閉会の辞 万才三唱 栗山新之助君
  - B 本会議に於て可決された四〇年度決算書及び四十一年度予算案次の通り

石和温泉旅行記

高野生

定時総会を兼ねた石和温泉旅行会は四月十一日決行された。この日曇りと雖も風なく、一行五十三名はバスの人となる。相模湖を通過するあたり、桜、つつじが満開で河口湖に至り昼食、折返し甲州街道に出る、勝沼あたりは桃の花ざかり、ぶどうは漸やく芽をふき出したところ午後三時石和着、ホテル石和に入つた。このホテルは同地でも一流と聞く規模、設備全くいうことなし、幹事の御骨折りを多謝した。午後四時半より定時総会、午後六時より宴に入る。武田節でなければ夜も日もあけぬと言うこの地方では例により、美岐十数名が出て唄う、おどりの大さわぎ、まつたく武田節一色によりぬりつぶされた。

翌十二日は午前十時宿舎発、甲府に至る。運よくめぐり合つた古式豊かな信玄祭を見物、午後五時一行は無事帰着した。

尚本旅行会に対し多額の寄附を下さつた各商社に対し感謝の意を表して筆をおく。

一行次の通り

店 舗 名	参加者数	店 舗 名	参加者数
ダイワ不動産	八	三愛不動産	一
共栄商亭	三	矢ノ口不動産	一
守屋商会	四	平和不動産	三
えびすや不動産	一	府中開発	一
高野不動産	三	府中不動産	二
八広不動産	二	多摩信用不動産	四
たま土地	四	金子商亭	一
村野不動産	一	朝倉商亭	一
山岸不動産	一	成吉不動産	二
丸山建設事務所	一		
玉光不動産	一		
百葉会館	三		
来賓			
八千代信用金庫	二		
守屋信厚	一		
計	五三名		

昭和41年度予算案

下記の通り審議願います  
昭和41年4月11日  
会計理事 横峠 優

収入の部		支出の部	
支部会費	700円×9×49	会議費	60000
	308700	通信費	1000
		出張交通費	80000
雑収入	10000	事務用費	3000
前年度繰越現金	89261	広告費	30000
同 当座領金	103130	慶弔費	10000
		福祉厚生費	30000
		業協会本部負担金	147000
		250円×12×49	
		多摩協会の費	12000
		1000×12	
		印刷費	20000
		広報費	60000
		備品費	10000
		事務費	30000
計	511091	計	511091

昭和40年度決算報告書

下記の通り報告致します  
昭和41年4月11日  
自4011 東京都宅地建物取引業協会府中支部  
至41331 会計理事 横峠 優

収入の部		支出の部	
組合費	500500	会議費	61815
組合加入金	138000	印刷費	67584
雑収入	52790	通信費	528
前年度繰越現金	58785	出張交通費	105940
同 預金	19170	文房具費	3540
		広告宣伝費	115700
		慶弔費	3500
		備品費	43920
		事務費	20480
		雑費	10600
		多摩協会費	6000
		業協会本部費	129250
		当座繰越金	103130
		現金繰越	98261
計	761245	計	761245

以上監査の結果相違ない事を認めます。  
監査 加藤 武